
ボーイズ ブラ

忍龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボーイズ ブラ

【Nコード】

N8873M

【作者名】

忍龍

【あらすじ】

漢に必要なもの・・・それは、力強さだけではない！

20XX年、大和男児減少という難題に直面した日ノ本は、男性軟弱化の進行を防ぐ為、本島に巨大な施設を設立した複数の隣接する県が土地を融資しあい、一県にも匹敵する広大なその地は男のみが入ることを許される機関

その名も大和男児育成機関”益荒男 - MASURAO - ”

日ノ本中の男児が小学校卒業と共に集結し
中高大と学業を修め、立派な漢を目指すのである・・・！

国立益荒男北部第伍高等学校、二年虎組

「・・・武田・・・貴様、ソレはどうしたのだ」

「買った」

「・・・買ったのか」

「そつだ、買ったんだ」

「・・・ブラジャーをか」

「ブラジャーをだ」

ネコ耳くなどと被つてもいいし、
メガネくと顔にあててもいい

勿論、目の前の武田のように、正しく着用してもいい

男だつてある意味懂れる、ブラジャー

「盗んだのではなくか」

「お前は莫迦か、益荒男には女はいない、盗める筈もなかるう」

「・・・だが武田、女がいないということは、
女性用下着も売ってはいないということにはならんか」

「ふん、だからお前は頭が固いというのだ」

「どういう意味だ」

「いいか斎藤、よく聞け、これは女性用下着などではない」

「なんだと？ では何だというのだ」

斎藤は我が耳を疑った

武田が着用しているのは、見間違いではない、紛う方無きブラジャーだ

「これは、男性用ブラジャーだ」

「だ、男性用だと・・・?!」

言われてみれば、ブラジャーのカップ部分は浅く、包むというよりはあてるような感じだ

レース類の装飾もない

「先日、俺はインターネットでこの商品を見つけ、いたく感銘を受けた」

「感銘だと?」

「これを装着すれば、やさしくなれるのだそうだ」

「やさしく・・・?!」

「いいか斎藤、漢には力という強さだけじゃない
やさしさという強さも必要だ」

「!?!」

斎藤はまるで落雷を受けたかのような衝撃を受けた

「・・・武田・・・俺が愚かだった

俺も貴様に倣うとしよう、その下着の購入方法を教えてくれ」

「お前ならばきつとそう言うだろうと思っていた

これを受け取れ、心友たるお前への心ばかりの品だ」

「こ、これは!」

シルクの光沢も神々しい、男性用ブラジャー

斎藤はぶるぶると感動に打ち震えつつも、そつと武田からソレを受け取り

武田の指南によって、ブラジャーを装着した

「・・・こ、これが、男性用ブラジャーなのか・・・!」

「そうだ斎藤、それこそが男性用ブラジャーだ!」

「・・・なんという装着感・・・

これは・・・そう、・・・やさしくなれる気がする・・・!!」

また一步、漢としての道を踏み進んだ彼らを背に
クラスメートは けして関わるまいと運動着に着替え、静かに教室
を後にした

武田と斎藤は武道の授業に遅刻した

日本の未来は・・・途絶えつつあるのかもしれない

（後書き）

男性用ブラジャーはネットですぐ検索できます、やさしくなれ……
るのか？

初めてその存在を知ったとき、笑うと共に、酷く切なくなったのを
覚えています

武田と斎藤は一体どこへ向かうのか……

雪融けが上手く進まなくて悲しくなって書きました
後悔は……。しまった、けど消さない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8873m/>

ボーイズ ブラ

2010年10月20日19時42分発行